

Organo de Hokkajda Esperanto-Ligo

Heroldo de HEL

N-ro 188 Majo 2020

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO 北海道エスペラント連盟

[Enhavo / 目次]

- ❖ 機関誌発行遅延のお詫びとお知らせ P.2
 - ❖ La 83-a Hokkajda Kongreso de Esperanto-
JOKOJAMA Hirojuki P.3
 - ❖ Danke ricevitaj P.5
(星田淳扱い--、読みたい方はご連絡ください)
 - ❖ パスポートセルヴォの記録② 覚知頌春 P.10
 - ❖ トリカブト スルク Akonito P.14
JOKOJAMA Hirojuki
 - ❖ 日本文学史序説・ESP. 訳 P.20
HOŠIDA Acuŝi
 - ❖ Raporto el Zaozhuang-Universitato P.22
中国山東省・棗莊学院からの報告 SATO Ryusuke
 - ❖ Lasta aina poeto MORITAKE Takeiĉi, kiun Tibor Sekelj volis
vidi セケリが会いたかった最後のアイヌ詩人 森竹竹市
HOŠIDA Acuŝi P.25
 - ❖ Protokolo de la 3-a Komitato Kunsido de HEL / Kasjaro
2020/2020 年度 第 3 回委員会議事録 P.26
 - ❖ 編集後記 / Redaktanto parolas..... P.28
-

機関誌発行遅延のお詫びとお知らせ

HEL 会員の皆様へ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため 2020 年 3 月に予定していた委員会を中止し、それに伴い、委員会と同日に行っている機関誌の発行作業も中止いたしました。つきまして、今号 Heroldo de HEL No-188 の発行が大幅に遅れましたことをお詫び申し上げます。

なお、今号 Heroldo de HEL No-188 は HEL のホームページにて電子版のみ閲覧可能といたします。公共施設に集まり印刷発行の作業をすることが、5 月の現時点でいまだに難しいことから、このような形式での発行となったことをどうかご了承承願います。

また、紙媒体での機関誌は、札幌における新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き次第、印刷・送付することいたしました。今後この状況が長引くなどした場合には、収束後、複数号を一度にまとめてお送りする可能性がございますので、よろしく願いいたします。

立木ちはや

2020/05/10

La 83-a Hokkajda Kongreso de Esperanto- JOKOJAMA Hirojuki

Japanio

La 83-a Hokkajda Kongreso de Esperanto okazis la 2an kaj la 4an de novembro en la urbo Sapporo.

La kongreso en la plej norda regiono havis la lokon en Kaderu 2-7 (Centro por Hokkajdana Aktivado), kie okazis la 99-a Japana Esperanto-Kongreso en 2012. Kaj ĝin efektive ĉeestis 26 homoj.

Unue la prezidanto anstataŭe legis la gratulojn nome de JEI (Japana Esperanto-Instituto) kaj NOEL (Nord-Orienta Esperanto-Ligo). Kaj nia HEL (Hokkajda Esperanto-Ligo) faris decidon pri la novaj redaktistoj de nia organo. La lasta ĉefredaktoro HOŜIDA Aĉuŝi laboris dum 23 jaroj. Poste ni decidis nove fari elektronikan organon per PDF kaj sistemon de elektronika membro. Tio kontribuas por la redukto de niaj kostoj.

Niaj organoj estas jene:

http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/HEROLDO_PDF/index_esp.html

Nokte 8 homoj ĝoje bankedis por amikeco.

La 3an ni planis koncerton de la rusa esperantisto Mikaelo BRONŜTEJN. Sed bedaŭrinde ni devis ĉesigi ĝin pro lia reveno al lia patrujo kaŭze de lia familia malfeliĉo.



La 4an de nov.

Ni planis prelegon de Mikaelo. Bedaŭrinde ni devis ĉesigi ankaŭ ĝin. Rapide ni petis la japanan veteranan esperantiston HORI Jasuo prelegi en nia kongreso. Li agrable akceptis nian peton. Li prelegis pri Esperanta movado de la japana regiono GUNMA. La persono en la temo estis la esperantisto NIŜI Seiho, kiu estis prezidanto de la Universitato de Gunma. Tiu stimulis junulojn elvolvante homaranismon. Poste HORI prelegis pri sia patro kaj la milito, kolekto de 166 pacaj mesaĝoj el 56 nacioj, raportoj de la Japana Nord-Orienta Regiona katastrofo inkluzive de la Fukuŝima-Katastrofo. Li sendis la raportojn de la katastrofo al 1200 esperantistoj en la mondo, kaj en Francio oni faris teatran dramon surbaze de liaj raportoj. Lia lasta prelego estas Internacia Esperanto-Sumoo. Lia pasio pri Esperanto imponis nin.

<Raportas: s-ro JOKOJAMA Hirojuki>

Danke ricevitaj (星田淳扱い、読みたい方はご連絡ください)

* NOVA VOJO : N-ro 568 januaro 2020, EPA(エスペラント普及会)、A5X26 頁のうち E.文は合計 10 頁。巻頭言は「3 年後の”EPA 創立 100 周年“を目指して/吾郷孝志」。「大本に好意的な印象を語る」は昨年 10 月の日本エスペラント大会の大本分科会に参加した 3 人の外国人の印象記。

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 355/januro 2020, Internacia Gazetode Esperanto Jokohama (Hama-Rondo)/エスペラントよこはまのエスペラント文会報, A4X4 頁。巻頭記事はえすぺらんと横浜の 2019 年の活動総括。Eseo 欄には原爆の図丸木美術館への訪問記/Sibayama Z.

* La Tamtamo; 第 527 号、2020 年 1 月号、NPO 法人エスペラントよこはま会報。A4X10 頁、日本文。「予定」欄に 2 月のよこはま国際フォーラム 2020 で長谷川テルについての講演のこと。

* La Movado: 関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行、N-ro 828 februaro 2020, B5x20 頁のうち E.文 5 頁。巻頭記事は「ワン・ワールド・フェスティバル (2 月 1~2 日、大阪) 出展へ/木元靖浩」。「JEI 文芸コンクール受賞のこと/佐藤守男」は、この頃応募者の少ないコンクールの意義について。「受賞の弁・小坂賞内緒話/田平正子」,[ポリグロット・コンファレンス・ワークショップのレポート/瀬下政也], 楽譜は『青葉の笛』、歌詞対訳付き。訃報: 三澤一弘さん(豊中 E 会、74 歳)、何度か北海道大会に見えていた。

* Mejlŝtono : 仙台 E.会、2020 januaro n-ro 275, B5X10 頁のうち E.文 2 頁半。巻頭記事は「Komence de la nova jaro/年頭のご挨拶/後藤斉」。続いて『2020 年度総会・ザメンホフ祭、2019 年度活動報告』など。11 月 9 日の広報行事「ようこそ、エスペラントへ」は新聞 2 紙に告知を出し、図書館や地下鉄ボードにチラシを置いて 4 名の一般参加者を得た。

* Ponteto(Bulteno de Esperanto-Ligo en Re-giono Kantoo) Januaro

2020, N-ro 298 B5x20 頁,のうち E.文 8 頁弱は表紙(年賀)、ロシアからの「ベルリンの壁崩壊 30 周年」の寄稿と「論語世界語訳/SASAKI Teruhiko」。連載中の「ザメンホフと 3 人の独裁者/大庭篤夫」は、スターリンについて。

* 受講生通信；第 188 号、2019-02-01, 沼津エスペラント会、A4X12 頁のうちエスペラント文半頁。韓国人受講生からのたよりもある。

* NOVA VOJO : N-ro 569 februaro 2020, EPA(エスペラント普及会)、A5X26 頁のうち E.文は合計 4 頁。巻頭言は「越年研修会に 55 人の若者が参加/木村且哉」。ほかにもこの行事についての記事、写真多数。日・中・韓・ネパールから 120 人が参加、4 日間の研修会。愛善歌 Gloro (栄光) の楽譜。連載中の信仰叢話 (DEGIĆI Hidemaru, trad. MAEDA Ŝigeki の対訳) は 10 回目。

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro356/februaro 2020,Internacia Gazeto de EsperantoJokohama(Hama-Rondo)/エスペラントよこはまのエスペラント文会

報,A4X4 頁。巻頭記事は日本語会報と同じ内容(総会)。Eseoj pri kla-Sikaj filmoj は古典的名作「風と共に去りぬ」と「アラビアのロレンス」について。

* La Tamtamo; 第 528 号、2020 年 1(誤り,->2)月号、NPO 法人エスペラントよこはま会報。A4X10 頁、日本文。巻頭にはエスペラントよこはま会員総会の見出しと写真。総会報告に機関誌の電子受信が継されている。他の団体やマスコミには紙版の郵送を続ける。

* La Movado:関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行、N-ro829 marto 2020,:B5x20 頁のうち E.文 6 頁。巻頭記事は"Skize pri Nia Esperanto-Movado en 2019/NAKAMITI tamihiro". Kajero Libervola は 列車内のおしゃべりから堀泰雄さんの NHK 出演など奇跡につながった実話。楽譜は"Bruna Flakono/茶色の小瓶/Little Brown Jug".

* La Informilo de Nagoja Esper-anto-Cetro/センター通信 295 号、2020 年 2 月 18 日、:名古屋エスペラントセンター発行、B5X18 頁のうちエスペラント文 5 頁は" Mia vojaĝo en Eŭropo en 2019(2)/

Hugimlto Hideko”, Spomenka Ŝtimec からのメール、”Vidindaj lokoj en kaj ĉirkaŭ Nagojo(5)/Yuasa Norihisa”, ”Vostoj ridas!!/Nakayama Akiko”/

*ESKALO:川崎エスペラント会機関誌 No.176 (2020年第1号,2020/2/19発行)。B5X8頁のうちE文5行。川崎エスペラント会総会報告など。

*第94回九州エスペラント大会案内
期日：2020年5月30日～31日
会場：ルートインーグランディア大宰府(福岡県)大会プログラム(省略)
申込:問い合わせ：福岡エスペラント会

*Mejŝtono：仙台E.会、2020 marto n-ro 276, B5X6頁のうちE.文1頁弱。巻頭記事は「第40回仙台緑の合宿(6月末)。『河北新報』に出た詩人土井晩翠の息子、土井英一とエスペラントの記事など。

*La Suno N-ro 111, 山梨エスペラント会機関誌, 2020年3月1日、B5X20頁のうちE文3ページ弱。毎年2回発行のはずだが昨年は9月1回出ただけだった。会(JES)の活動記録、「ローマ教皇様の御ミサにあずかって」では「壁を作る

のでなく橋を造ろう」のこぼを紹介。

「エスペランティストは長生きできるか/引田秋生」の答えはJES とのこと。

Brexitしたイギリスのその後の感想藤田/喜久, 「ソウル ウズベキスタンを旅して/小田切富子」は現地に住んだり旅行したりの感想。

*Ponteto(Bulteno de Esperanto-Ligo en Re-giono Kantoo) Marto

2020, N-ro 299 B5x24頁,のうちE.文13頁は”Historio de mia fami-lio en

Tajvano/Abengo=卓証明=西原照雄”、

“貧しい画学生ヘルガを助けてくれた

Grete おばあさん/Helga PLO”TNER”,

“論語世界語訳/Analek-Toj/佐々木”, ”Nia

even-to pri Ĉinio…/Ales-Sandra

Madella”. 「大庭篤男の関東大会直前講座1

“は今年の世界大会のカナダについて。

*Novaĵoj Tamtamas; n-ro 357/marto

2020,Internacia Gazetode

EsperantoJokohama(Hama-Rondo)/エ

スペラントよこはまのエスペラント文会

報,A4X2頁。記事の大部分はコロナウイ

ルス。

* La Tamtamo; 第 529 号、2020 年 3 月号、NPO 法人エスペラントよこはま会報。A4X8 頁、日本語。

トップ記事は「よこはま国際フォーラム 2020 に参加して」、多くの学習会で読んでいるのは *Ŝtona urbo, Skizo pri la vivo de Eroŝenko, Kumeŭaŭa, La filo de ĝangalo* など。

* La Tamtamo; 第 530 号、2020 年 4 月号、NPO 法人エスペラントよこはま会報。A4X4 頁、日本語。この号は 529 号ととじあわせた状態で発送されている。コロナウィルス関係でトップ記事の「県民センターでの活動は一時中断」などのためか。

* La Movado: 関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行、N-ro 830 aprilo 2020.; B5x16 頁のうち E.文 5 頁半。巻頭には第 68 回関西大会 (6 月)、第 94 回九州大会のご案内。Kajero Libervola は気候変動対策の温室効果ガス削減問題。
“Japanajeldo-Naĵoj en 2019/SOMEKAWA Takatosi” は昨年国内で出版の本の紹介。対訳連載中の「源氏物語/belmonto」は Dancidti-Noj/第 21 帖少女 (をとめ) に入っている。「ワン・ワールド・フェスティバル出典 (大

阪)/福田誠」楽譜“Floras floroj (さくらさくら)”。2022 年大阪での SAT 大会関係記事 (de MIYAZAWA Naoto) も出ている。

* 受講生通信; 第 189 号、2020-04-01、沼津エスペラント会、A4X12 頁のうちエスペラント文約 2 頁。いつもながら受講生との交信がおもしろい。

* NOVA VOJO: N-ro 571 aprilo 2020, EPA (エスペラント普及会)、A5X26 頁のうち E.文は合計 5 頁。札幌での EPA 夏季合宿 (8 月) など行事予定が並んでいるが、最後に「新型コロナウイルス感染拡大の状況により、延期や取りやめになる可能性……」と断り書き。

「新たな 10 年に向かって/EPA 講師金子暁美」は発展してきたこどものエスペラント教室について。「エスペラントで世界を満たそう!/堀孝三」にも多くの子供たちの写真が見える。

* Vojo Senlima: N-ro 180, aprilo 2020, 熊本エスペラント会、A4X6 頁の内 Esp. 文は 3 行。発行は 1 年に 1 回。巻頭記事は八代エスペラント会の活動報告。“La raporto de La 93-a Kongreso (第 93 回九州エスペラント大会報告)/畠田

ミツ子“は1年前の大会の報告か。「バンコクで出会ったエスペランチストたち/中山久仁子」,「コスタリカの幸福の私たち/田端真理子」..最後のページのMemorandumo は過去1年の活動の列挙。

* La Informilo de Nagoja Esperanto-Centro/センター通信 296号, 2020年4月14日、:名古屋エスペラントセンター発行、B5X24頁のうちエスペラント文7頁半は”Mia vojaĝo en Eŭropo(3)/Huĝimoto Hideko”と”Vidindaj Lokoj -- (名古屋市科学館)/Yamaguti Sin’iti”。

『2020年度総会報告』、La Movado から転載の「日韓の国際行事が育んだもの/堀田裕彦」。

* La Movado:関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行、N-ro831 majo 2020,;B5x16頁のうちE.文3頁。Kajero Libervola は「蟹工船」をEsp.訳したŚIMAZU jasuko さん。「コロナウイルスをエスペラントでは?編集部」とKurantaj Vortoj は同じページ。Salonoには長谷川テル顕彰の会についての報告。

* sferilo2020.4.26 電子受信:米国サンフランシスコ周辺のEsp.組織(SFERO)の機関誌(5月号)。エスペラントと英語使用。5月2日の第548回月例会予告。会合はZoomを使った電子参加方式。

NASK(例年の北米夏季講座)もZoomによる参加。コロナウイルスの影響は全世界に!

パスポルタセルヴォの記録②

覚知頌春

2019年も、たくさんパスポルタセルヴォで旅行した。いろんな人にお世話になったので、その記録を書いていく。

年が明けて、1月12日の夕方に再びアルバースドルフのマーティン&イェンスの家に行った。猫のヴァズィリは年が明けた後、死んでしまったらしい。猫が1匹減ってしまったが、もう片方のヒロシは元気だった。家の子どものマセルと遊んだ。遊戯王やチェスやモノポリーをした。遊戯王は3連敗を喫したが、チェスとモノポリーは圧勝した。夕食はラザニアだった。うまかった。翌日は低地ドイツ語の集まりに行った。午後、サウナに4回入ってラザニアを食べて帰った。

1月19日には、高速バスでデンマークはオーフス (Aarhus) のエックハルトさん (Eckhard) のところに行く予定だったが、バスに乗る際に、パスポートを持っていないことを指摘され、いけなかった。シェンゲンとかそういうものがあるから、ドイツとデンマークの間でパスポートはいらないんじゃないか、となんとなく思っていたのだ。4000円ほど無駄にしたが、しかたない。

3月には、オランダのフリースラント州をパスポルタセルヴォで旅行した。この顛末は北大エス研の会報『Rondo Nordo』1号にも書いたので、内容が重複するが、簡単にまとめる。3月1日の10時ごろ、オランダのフローニンゲンに到着し、市街や大学や古本屋を少し見て回った後、電車に乗り、13時ごろフリースラントの州都リュウエトに着いた。この日は、スクーズムという村の農場に住んでいるエスペ란ティストのマイケさん (Maïke) にお世話になる予定で、リュウエトからはバスに乗る必要があった。一度、バスに乗るのに失敗したが、15時半ごろマイケさんの家に着いた。マイケさんの家は4人家族だった。彼女は西フリジア語 (西フ Frysk, オ Fries) というオランダの少数言語の話者だった。旦那さんも少しエスペラントができるようだった。その日は言葉の話などをしたりして寝た。3月2日は自転車借りて、マックムという街や、Afsluitdijk という

堤防を見に行った。水路が縦横に走るオランダの農地の間を、自転車で走った。その他、マイケさんに農場を案内してもらった。中には牛、馬、犬、猫、鶏がいた。土の説明もしてもらった。帰り際に、西フリジア語の本をたくさんもらった。

3月3日は、別のエスペランティストのアンドリースさん (Andries) とリャウエト駅で出会った。アンドリースさんはビルトという地域の出身で、リャウエトで定期的に多言語カフェのようなものを開いているようだった。オランダで開かれるエスペラントのイベントにもたまに行ってるようで、何度か情報ももらった。また、フェイスブックにもいつもオランダ語とエスペラントと併記させており、熱心さが伝わってくる。アンドリースさんの奥さんはポーランド人で、息子さんが一人いた。彼らはエスペラントを話さなかった。アンドリースさんの家にも一泊させてもらった。帰り際にまた本をもらった。

4月は、デンマークのオーフスに行き、前回のリベンジを果たした。オーフスはユトランド半島の北東にある都市で、そこそこ大きい都市である。調べたところデンマークで二番目に大きいらしい。といっても、人口30万人くらいなので、たいして大都市だと感じなかった。オーフスに着いたのは4月4日の朝6時だった。デンマークは初めてだったので、どんなものかと街中をうろうろした。かなり好奇心があったので、駅から町中から大学まで、全部徒歩で回った。道が広く、家がなんかみんな低くて、ゆったりしている街という印象を受けた。エックハルトさんの家は、オーフスの郊外のスタウトルプ (Stavtrup) にあり、そこまではバスで行った。スタウトルプは高台にあり、見晴らしがよく、周りに2つの大きな湖があった。



エックハルトさんの家で食べた朝食

エックハルトさんはドイツ出身で、リタさん (Rita) という奥さんと二人暮らしだった。リタさんはデンマークのテュー (Thy) 出身で、エスペラントも少しできるようだった。そのため、3人ではいるときはエスペラントと時々ドイツ語で会話をした。エックハルトさんは大学で働いており、情報系の何かを専門としているようだった。それとは別に、東洋医学の診療もしており、すごい人だなと思った。エックハルトさんはエスペラントでも何冊か本を書いているようだった。着いた日は、ピザをごちそうになった。うまかった。4月5日は、オーフス大学のユトラント方言研究所を訪問する予定で、エックハルトさんも興味を示したので一緒に行くことになった。車で研究所まで行き、中の資料を見せてもらった。それが終わった後は、エックハルトさんと別れ、一人で開拓記念館的な博物館を見たり、街をぶらぶらしたりした。その後バスで帰り、パスタをごちそうになった。おいしかった。その日は、リタさんの出身地の方言 (Thyboymål という) の話や、デンマーク語の質問をさせてもらった。翌6日、キールに帰った。

2019年はその他、方言のイベントがあるたびに、アルバースドルフのイエンスさんの家に何度も行かせてもらった。3月、4月、10月、11月の計4回お邪魔させてもらった。

また、8月にブクステフーデのユッタさんの家にもう一度遊びに行った。2019年は、合計8回パルボルタセルヴォで旅行したことになる。



エックハルトさんの作ったツボ(?)のポスター



オーフス市街

日本エスペラント協会の事業計画に、多言語・多文化共生時代に関する取り組みがありますが、日本国内の先住民族であるアイヌ民族とその危機に瀕している少数言語であるアイヌ語については今まで触れられてこなかったため、協会として取り組むべきだという案を宮沢理事が 2010 年 1 月に理事会に提案し受け入れられました。

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/miyazawa/index.html>



その後、レヴオ・オリエンタ(RO)編集長の柴山純一さんからアイヌ語・日本語・エスペラントの 3 言語のページを 6 月号から 2 ページ見開きで、数回載せないかという提案をいただきました。これは、日本のエスペランチストに、生きている言語としてアイヌ語を見てもらいたいという趣旨と思われます。

今回の記事は編集して、RO へ投稿する予定です。

アイヌタイムズ第 25 号(2003 年 4 月 7 日発行)からアイヌ語抜粋

著者: 横山裕之

スルク

(アイヌ イタク [アイヌ語])

トリカブト

(日本語)



トリカブト 写真提供: 姉帯正樹氏

トリカブト アナク アイヌ イタク アニ スルク
セコロ ア・イエ プ ネルウエ ネ。

スルク アニ カムイ ネヤ ユク ネヤ ア・ロン
ヌ。

スルク ウシ アイ アニ ア・チョツチャ コロ、
カムイ ホシキノ ライホチカチカ、コロカ ウウ
エバクタ キロロサク ワ ヤイストウンヌ ワ、コ
イスム タク エクパ カネ、アイネ ライルウ
エ ネ。

チコイキプ スルクカムイ オロワ ア・イホシキ
レ クニ アラム。

トリカブトをアイヌ語でスルクと言います。

トリカブトの毒で熊や鹿などを獲りました。

トリカブトの毒を付けた矢に当たった熊は、最
初は暴れるが、徐々に静かになり、気力を失っ
て、口から泡を吹いて死にます。

スルクカムイ(毒の神)が獲物を酔わせるからだ
と考えられていました。

ポンノ ポンノ フツタツ スルク ア・ウシ ワ、
ア・パルンペ カ タ ネワアンペ ア・アヌ。
ネ スルク ユブケ ヤ カ、 アニ ア・エラマン
ルウェ ネ。
ネワアンペ 「スルク サブケ」 セコロ ア・イエ。

ネンカネ ア・ウタリ スルクカラ・アン コロ、 ナ
ニ ライ・アン ベ ネ。

砂沢クラ カツケマツ スイエ ヒ エネ オカ ヒ：
「ペッツ ツラシ バエアシアワ、 ウンエカリ
ポン ウナラベ ホユブ ワ サン。ポン アザボ
クーカン セコロ イタツクテツク ホユブ オマ
ン。

ハンペトット シケ バセ ワ イオ ラウキ シ
レバ アッス アワ イシリ クランデ ポン アザ
ボ エネワ ボカ ヤイカリカ コエ ラン ベテツ
ク イバ コロ アン。

オロワ ケシトケシト アイ ビリヒ ムン シンリ
ツツ アニ カシ アン オイキ ヤッカ ナニ エ
コタ エン カスイ。

ポンノ ピリカ イケカ カンナ スイ エン。シネ
アンタ ツマン カシ フツバ オケレ。ネ ト タ
マウヅイ。」

中本ムツ子 カツケマツ エネ ハウエアニ：
「キナ ナア ポン ヒ タ スルク カ オハウキ
ナ カ ウネノ アン コロカ キナ ポロ ヒ タ
カトウフ ウシンナノ アン。」

パイカラ アン コロ オハウキナ ノンノ ヘチラ
サ。ネ ノンノ レタラ。チュク アン コロ スル
ク ノンノ ヘチサラ。ネ ノンノ シウニン。

微量を笹の葉に塗り、舌にのせました。

その毒が強いかどうかを、それによって知りま
した。

これは、「スルク サブケ(毒の塩梅を見る)」と言
われます。

私たちが間違って毒にかかると、すぐ死にま
す。

砂沢クラさんは、以下のように書きました：

「若いおばさん、走ってきて、若いおじさん熊取
りしかけにかかったと言って走った。」

父母は荷物が重くて遅く着きましたから、かわ
いそうに若いおじさん苦しんで身のやり場がな
いようになりがっていました。

それから、毎日毎日、矢の傷、草の根で直した
が、だんだん悪くなって、

少し良くなっても、また悪くなり、ある日からだ
全体が腫れて、その日に亡くなりました。」

(『私の 10 代の思い出』砂沢クラ著 昭和 58 年
みやま書房 p.33-34)

中本ムツ子さんは以下のように言いました：
「トリカブトとニリンソウは、まだ小さいうちは似
てます。しかし、大きくなれば違いがはっきりし
ます。(『ウバシクマ 1』・中本ムツ子編・解説・片
山龍峯 1999 年片山言語文化研究所 p.59)

春になると、ニリンソウの花が咲きます。花は
白です。秋になると、トリカブトの花が咲きま
す。花は紫です。



エントリカブト 写真提供: 姉帯正樹氏

オハウキナ クツタラ ネ コロカ、スルク アナ
ク ソモ ネ。スルク キナ ア・ヤク コロ フラ
ウエン ルイ コロカ、オハウキナ ソモ フラ
ウエン。

スルク モトホ「アコニチン型アルカロイド」ネ
ワ、アニ 神経細胞 スルクカラ ペ ネ。スルク
ア・エ ヤクン、トゥクンネ・アン ワ レワレ
ワク・アン アイネ、ラヤン ルウェ ネ。

漢方 オロ タ スルク 附子(ぶし) セコロ ア・
イエ クスリ ネ ア・カラ。コロカ、スルク アン
クス イサ パテク ア・エイワンケ ソモ キ ヤ
クウエン ルウェ ネ。

ニリンソウの茎は中空ですが、トリカブトの茎
は違います(註: 中が随で塞がっています)。
トリカブトの茎は潰すと、ピリツと苦臭いがしま
すが、ニリンソウは刺激臭はありません。

トリカブトの毒成分である「アコニチン型アルカ
ロイド」は、神経細胞に作用します(註: 「神経
毒」)。トリカブトを食べると、体じゅうがしびれ、
体が弱くなり、死にます。

漢方では、トリカブトから附子(ぶし)という薬が
作られます。しかし、毒があるので、医者しか
使ってはいけません。



附子(ぶし) 写真提供: 綿帯正樹氏

アイヌタイムズをご購入していただける方がお知り合いでいらっしゃいましたら、お声をかけてい
ただけると大変うれしく思います。

購読連絡先: 〒055-0101 北海道平取町二風谷 80-25 萱野志朗(宛)

購読料: 1500 円 (4 号ごと/アイヌ語版のみ)

2300 円(4 号ごと/アイヌ語版と日本語版)

読者からの投稿募集:

(連絡先): 〒047-0033

浜田隆史(宛)

北海道小樽市富岡 1-32-136

電子メール: otarunay@yahoo.co.jp

ウェブページ: <https://otarunay.at-ninja.jp/taimuzu.html>



注)アイヌタイムズの著作権は、アイヌ語ペンクラブにあります。

注)1. 赤字は、アイヌ語です。

2. 赤字のイタリック文字は、主に日本語由来のアイヌ語外来語です。

Unu el la administra plano de Japana Esperanto-Instituto (JEI) estas trakti kunvivan tempon de multlingvo kaj multkulturo. Sed ĝis nun JEI ne traktis la etnon ainon, indiĝenon ĉefe en norda Japanio, kaj la ainan lingvon, endanĝeran, t.e. minacatan de pereco. Tial la estrarano Miyazawa proponis la planon, ke JEI traktu la ainon kaj la ainan lingvon. La konsilio de JEI akceptis tion.

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/miyazawa/index.html> (nun preparata)



Poste proponis ŜIBAJAMA Ĵun'iči (SIBAYAMA Zyun'iti), la ĉefredaktoro de "Revuo Orienta (RO)", la organo de JEI, ke mi kaj MIYAZAWA Naoto kontribuu artikolojn pri aino. La artikoloj estos skribitaj en la tri lingvoj, la aina, la japana kaj Esperanto ekde la junia numero en du unuvidaj paĝduoj. Oni povos kompreni, ke tiuj artikoloj montras la ainan lingvon kiel vivanta lingvo al japanaj esperantistoj.

Ĉi-fojan artikolon mi kompilas laŭ formato de RO, kaj kontribas ĝin.

El AinuTimes n-ro 25 eldonita en la 7-a de aprilo 2003
aŭtoro: JOKOJAMA Hirojuki

Surku

(La ajnua [*t.e.* aina] lingvo)

Akonito

(Esperanto)



トリカブト 写真提供: 綿帯正樹氏

Torikabuto anak aynu itak ani surku sekora=ye p ne ruwe ne.

Surku ani kamuy neya yuk neya a=ronnu.

Surku us ay ani a=cotca kor, kamuy hoskino rayhocikacika, korka uwepakta kirorsak wa yaynutunnu wa, koysum tak ekupa kane, ayne ray ruwe ne.

Cikoykip surkukamuy orowa a=ihoskire kuni a=ramu.

Ponno ponno huttat surku a=usi wa, a=parunpe ka ta nēwaanpe a=anu.

Oni nomas akoniton "surku" en la aina lingvo.

lam aino kaptis kaj urson kaj cervon per veneno de akonito.

Urso trafita per la sago kun veneno de akonito, unue furiozas, iom post iom kvietiĝas, fariĝas malvigla, ŝaŭmas el buŝo, kaj mortas.

Aino pensis, ke la akonita dio ebrigas kaptajon. Aino pensis, ke dio ekzistas en aĵo neatingebla per homa saĝo.

Aino ŝmiris sasan folion per iom da akonitaĵo, kaj metis ĝin sur sian lango. (La saso estas japandevna vorto de genro de bambuoj indiĝenaj en orienta Azio.)

Ne surku yupke ya ka, ani a=eraman ruwe ne.

Néwaaampe "surku sapke" sekora a=ye.

Nenkane a=utari surkukar=an kor, nani ray=an pe ne.

Sunazawa Kura katkemat nuye hi ene oka hi:

"Pet turasi paye=as awa, un=ekari pon unarpe hoyupu wa san. Pon acapo kúkan sekora itak tek hoyupu oman.

Hampe totto sike pase wa iorawki sirepa=as awa isirkurante, pon acapo ene wa póka yaykar i ka koerampetek, ipa kor an.

Orwa kesto kesto ay pirihi mun sinrit ani kasi an=oyki yakka nani ekota wen kasuy.

Ponno pirka ikeka kannasuy wen. sine an ta tumam kasi huppa okere. Ne to ta mawtuy."

Nakamoto Mutsuko katkemat ene hawean hi:

"Kina naa pon hi ta surku ka ohawkina ka uneno an korka kina poro hi ta katuhu usinnano an."

Paykar an kor ohawkina nonno hecirasas. Ne nonno retar. Cuk an kor surku nonno hecirasas. ne nonno siwnin.

Laŭ tio aino komprenis, ĉu ĝia veneno estas forta aŭ malforta.

Aino nomas tion "surku sapke (Provi fortecon de akonita veneno)".

Se oni misprenas la venenon, oni tuj mortas.

S-ino SUNAZAWA Kura, ainino el la Hokkajda urbo Asahikawa, skribis jene:

Kvankam juna onkloro iris monte, ŝi venis al ni kure, diras, ke juna onkloro falis en kaptilon por urso. Kaj ŝi forkuris.

Ĉar miaj gepatroj alvenis hejmen malfrue pro peza ŝarĝo, la juna onkloro suferadis kaj ruliĝadis kompatinde kun nenia helpo.

Kaj tagon post tagon oni kuracis la vundon de sago per medicina herbaradiko, sed pli kaj pli li malbonfartis.

Li iom bonfartis, sed baldaŭ ree malbonfartis.

En iu tago tuta korpo ŝvelis kaj en la tago li mortis.

(Watasi no ĵuudai no omoide (Rememoro el mia dekarula vivo), verkita de s-ino SUNAZAWA Kura, 1983, Miyamaŝobou, p.33-34)

S-ino NAKAMOTO Mutsuko, ainino el la Hokkajda urbo Titose, skribas jene:

"La akonito kaj la duflora anemono estas similaj en ilia juneco. (La duflora anemono estas manĝebla herbo.) Sed en ilia plenkreskeco oni komprenas la malsamecon. (Upaskuma (Aina legendo), kompilita de s-ino NAKAMOTO Mutsuko, klarigita de s-ro KATAYAMA Tatumine, 1999, Katayama-Gengobunka-kenkjuujo, p.59)

Printempe floras la duflora anemono. La koloro estas blanka. Aŭtune floras la akonito. La koloro estas purpura.



エゾトリカブト 写真提供: 緒形正樹氏

Ohawkina kuttar ne korka, surku anak somo ne. Surku kina a=yaku kor húra wen ruy korka, ohawkina somo húra wen.

Surku motoho "Akonitin-gata Arukaroido" ne wa, ani *sinkeisaibou* surkukar pe ne. Surku a=eyaku, tukunne=an wa rewarewak=an ayne, ray=an ruwe ne.

Kanpou or ta surku *Busi* sekor a=ye kusuri ne a=kar. Korka, surku an kusu isa patek a=eywanke somo ki yak wen ruwe ne.

Malplena estas la eno de duflora anemona tigo, sed plena estas tiu de akonila tigo. Se oni disprenas akonitan tigon, ĝi donas fian odoron. Sed duflora anemono ne donas tian odoron.

Se oni disprenas akonitan tigon, ĝi donas amaran stimulan odoron. Sed duflora anemono ne donas tian odoron. La nervoĉelojn perturbas la akonita venena komponanto "alkaloïdo de akonitina tipo.

Laŭ ĉina medicino oni faras la ĉinan medikamenton Buŝi (farita el seka radikoj) el akonito. Ĝi havas venenon, tial nur doktoro povas uzi ĝin.



附子(ふし) 写真提供: 姉帯正樹氏

Aĉetu nian la ajnuan gazeton "Ainutimes", ni petas. Abonkotizo: 1500 enoj 4 numere (nur ajnua versio), 2300 enoj 4 numere (ajnua kaj japana versio)

Varbu la ajnu-lingvajn kontribuojn de legantoj, ni petas. La temo, la formo, la paĝoj estas libera, kaj ni povas helpi viajn komponaĵojn.

(Kontakto) Poŝtkodo: 047-0033,
Adreso: HAMADA Takaŝi
1-32-136, Tomioka, Otaru-ŝi, Hokkajdo,
e-poŝto: otarunay@yahoo.co.jp
TTT-ejo: <https://otarunay.at-ninja.jp/taimuzu.html> (japane)

Se vi kontaktu Esperante, jene.
e-poŝto: hokkaido_esp_ligo@yahoo.co.jp (Hokkajda Esperanto-Ligo)



rim.) La eldonraĵo de AinuTimes apartenas al Ajnu-lingva PEN-Klubo.

1. Ruĝa litero estas ajnu-lingva.
2. *Ruĝa kaj kursiva litero estas la pruntovorto originanta el la japana lingvo.*
3. *La pruntovorto estas skribita laŭ la maniero "99-siki roomaji (japane)" de japana latina litero.*
4. La akcenta signo estas aldonita al la ain-lingvaj vortoj enhavanta esceptan akcenton. (Se la unua silabo estas malfermita, la dua silabo enhavas akcenton en Hokkajda dialekto de ain-lingvo. Kaj se la dua silabo estas malfermita, la unua silabo enhavas akcenton.)
5. Verda litero estas Esperanta.

何人かの方にはお見せしたかと思うが
日本文学史序説(上)(下)、加藤周一著、筑摩書房発行
を malnova HEL-ano, S-ro 澤谷雄一が 何年か前から Esp.訳してい
ます。
上巻の訳は一応終わり、今下巻にかかっていると思いますが、訳文のチェック
を頼まれ横山さんと星田がいま目を通しています。
内容が大きいので協力者(provlegantoj)の参加を期待します。私が受け
取った訳文は以下の通りです。

*Bindo 1-a(原稿綴じにつけた番号です)

訳文:A4X24 ページ

HISTORIO DE LA JAPANA LITERATURO

対応する原文: 最初の「日本文学の特徴について」から

046 頁の この章の終わりまで:

この分は星田が provlegado 中で 訳文の 18頁、原文の 037頁あたりま
で目を通している。

*Bindo 2-a

訳文:A4X8 ページ

La 1-a c^apitro LA TEMPO DE "MAN'YO^SYU"

対応する原文:047 頁の第 1 章「万葉集の時代」の 初めから 原文 060
頁 の「17条憲法から」の終わりまで。

*Bindo 3-a

訳文:A4X9 ページ

1-2 "KOZIKI" KAJ "NIHONSYOKI"

対応する原文:060 頁の「古事記」および「日本書紀」から
074 頁の 2 行目 まで

*Bindo 4-a

訳文:A4X10 ページ

1-3 Popolrakontoj kaj baladoj

対応する原文:074 ページの「民話と民謡」 から
原文 087 頁の 5 行目まで

*Bindo 5-a

訳文:A4X28 ページ

1-4 Pri "Man'yo^syu^"

対応する原文:087 頁 6 行目の「万葉集について」から
原文 123 頁の終わり(第 1 章「万葉集」の時代 の終わり) まで

ほかに

*<Notoj> (Esp.文 A4X3 ページ)

は ローマ字表記についての説明

これは横山さんがチェック中。

*GLOSARO(1) (Esp.文 A4X36 ページ)

用語の説明

「ここは私が目を通してみよう、チェックに協力しよう」と思っていただけるところがあればお知らせください。訳文コピーを送ります。原本は日本文学史序説(上)(下)、加藤周一著、筑摩書房発行は (1400 円+税金)X2 冊 です。

Raporto el Zaozhuang-Universitato

中国山東省・棗莊学院からの報告

SATO Ryusuke

S-ro SATO Ryusuke, kiu estis en Sapporo en 2014, laboras por Zaozhuang-Universitato, provinco Shandong, Ĉinio. Sed nun li estas en Japanio pro Printempa ferio. (La Red.)

中国山東省の棗莊学院で働く佐藤隆介です。

1月から春節休みで日本に帰国していますが、ご存知の通りのコロナウイルスの流行に対応するため、本学は在宅授業を行っています。

私も1月に日本に来てから、中国に戻っていません。棗莊学院周辺での現在の事情を簡単にお知らせします。

大学について

棗莊学院は省立四年制総合大学です。学生の半数以上が理系の応用系学科に属します。外国語学部には日本語科とエスペラント科があります。

現在の大学の状況

新学期開始日は当初、2月17日からを予定していたのですが、感染予防のため、キャンパスを使わず在宅オンライン授業を実施しています。

山東省教育庁の統計を見ると、省全地域の大学でも同様にオンライン授業による対応、他の省でも同様だそうです。

次の記事では、現在キャンパス付近に住む Bak Giwan 教授が中国報道エスペラント網の取材に応じてエスペラント語でメッセージを送っています(3月4日報道)。

<https://www.toutiao.com/i6800259382358573579/>

オンライン授業

私の担当させていただいている日本語科やエスペラント科もオンライン授業を実施しています。

私は別の方法を使っているのですが、ふつうはビデオ通話のような形で授業をするようです。具体的な方法としては、既存のオンライン授業配信サービスである MOOC や雨課堂などのサービスを利用します。

どうも全土で利用されているらしく、混雑してつながりにくい時もあるそうです。

私個人は時間割の調整の都合のため、録画したファイルや PDF 等を送って対応しています。授業回数は週 7 回です。

周辺での発症は 大学の所在する棗荘市内では 24 人が感染したことがわかっていて、全員がすでに治癒しています。

多いように感じるかもしれませんが、棗荘市は京都府ほどの面積に 350 万人が在住していますから、全人口感染率 0.000006%の計算になります。

国の対策

国家健康委員会が中心となっていていろいろな具体的指示が出されています。

興味深いのはその中に「漢方治療の方法」という文書があり、広く使われているようです。

中華医科学エスペラント協会の Wang Disheng 先生がエスペラントに翻訳したものを世界語博物館が公開しています：

<http://e-muzeo.uzz.edu.cn/shown.asp?id=496>

ここからは個人的な推測ですが、漢方薬は 病院の混雑緩和に一役買っているのかもしれませんが。

コロナウイルスは症状があまり出ないため、診断を受けても軽ければ自宅静養と経過観察をすることになります。

またイブプロフェンなどを服用してごまかしていたら逆に悪化したなどの例もあり、むやみに対症療法を行うのもよくないようです。

そこで症状のない人や軽症者にはまず漢方を処方して経過を聞き、本人が「効かない、ひどくなってきた」と言うようなら 入院治療等を検討するという順序を踏んでいるのではないかと思います。

山東省にも春が訪れています。学生たちはまだ新学期に顔を合わせることはできませんが、みなさんの関心が慰めになるのではないかと思います。

以上、学校から伝え聞く現在の報告でした。

Lasta aina poeto MORITAKE Takeiči, kiun
Tibor Sekelj volis vidi

セケリが会いたかった最後のアイヌ詩人 森竹竹市

HOŠIDA Acuši

Kiam Tibor Sekelj vizitis urbeton Širaoi, konata loĝloko de ainoj, li diris "Ĉi tie loĝas aina poeto. Mi volas viziti lin."

Bedaŭrinde Sekelj ne povis vidi la poeton, ĉar li estis for de la hejmo.

1960年4月27日、白老のアイヌコタン（観光施設）を見たセケリ（Tibor Sekelj）は「ここにはアイヌの詩人がいる。会って話を聞きたい」という。残念ながら当時の私は全然知らなかった。訪問の予告はしてなかったらしく、自宅は留守で、会えなかった。その人が森竹さん。その後白老ポロト湖畔にできたアイヌ民族博物館の初代館長を務めていたがアイヌ語で詩を作れる最後の人だったかもしれない。

HELが「アイヌ神謡集」のエスペラント訳にとりかかったとき、彼に意見をきいたことがあった。

家庭のことなど多忙とのこと、「いつか打ち合わせて、ゆっくりお話しできたらと思いますが、・・・」との返事があったが、その「いつか」は結局実現しなかった。

最近【2020.3.15】「ラストアイヌ 反骨のアイヌ歌人森竹竹市の肖像」が出版された。カバー写真は「バチェラー八重子の生涯」を出した掛川源一郎による。

Protokolo de la 3-a Komitato Kunsido de HEL/Kasjaro 2020
2020 年度 第 3 回委員会 議事録

2020/01/13(日)

出席者:横山、後藤(義)、山下、星田、川谷(記録)

❖組織

出入りなし(山下) 計 37 名

❖財政

特別なし(山下)

❖広報

HP 合計 593830 人 +216(横山)

❖M/マガジン

行事がないため特になし(横山)

❖情報・宣伝

特になし

❖教育・研究

SES:今まで読んでたのがそろそろ終わる。新しいのは蟹工船やる予定。(後藤)

苫小牧:今までやってた人が病気。柴田内科でザメンホフ祭。モントリオールの世界大会に行きたい人が2,3人。それに向けた会話練習をやろうと計画中。(星田)

宮沢さんの会:お互い都合がつかずやっていない。東京自由エスペラント協会、大阪自由エスペラント協会を作って若い人と活動する準備をしている。(横山)

北大エス研:新年度募集まで休止中。(川谷)

しみサポは申込期限が過ぎていて今年はなし。(山下)

❖機関誌

187号。前回の委員会で発行部数は70部にするということになっていたが、失念して80部印刷。(星田) HEL からの一方的送付になっている会について、議論の結果、香川・和歌山・京都は送付中止。(全会)

電子会員について

現在、電子会員への移行希望者は3名。

電子会員の会費の金額については次回の委員会で議論して決定する予定である。

❖年間計画

6月の初夏合宿はいつがいいか確認する。場所はいつものところ。(星田)
道新の十区(トーク)なら割と掲載されやすい。(後藤)

(※no-188 発行の2020年5月10日現在では、新型コロナウイルスの影響で初夏合宿の6月開催を見合わせています)

❖社会活動

特になし

❖次回委員会

3/1。場所は未定(1週間前に電話予約する予定)。

(※その後、3/1の委員会は新型コロナウイルスの影響で中止となりました)

[編集後記 / Redaktanto parolas.....]

*札幌もようやく春めいてきました。ずっと“Restu hejme”では気が滅入るので深夜に散歩に出るようにしています。あまり車も走っていませんし、経済活動の停滞のおかげで、空気がきれいで気持ちがいいです。感染には、早く落ち着いてほしいと思いますが、かといって「元の生活に戻りたい」とはもはや思いません。

北海道エスペラント連盟 会費/年

正会員 3000 円、青年会員(26歳未満) 1500円、

購読会員 2000円、家族会員、失業者など割引 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

*Redaktas la Organa Fakoj de HEL

*編集:連盟機関誌担当

ĉe ĉihaja TAĈIKI

立木ちはや

Retadreso: belaj.akaroj@gmail.com

*Sekretario: Juima KAVATANI

*事務局:川谷維摩

N-ro 100, Simin-Katudô-Sapôto-Sentâ

060-0808 札幌市北区北8条

Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3,

西3丁目 札幌エルプラザ

Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

市民活動サポートセンター

TEL: 011-717-4189(Mijazaŭa 宮沢)

レターケース100

Retadreso: s20193070@eis.hokudai.ac.jp (Kavatani 川谷)

*TTT-ejo: <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm>

*Poŝtĝirkonto(郵便振替): 02700-6-17075